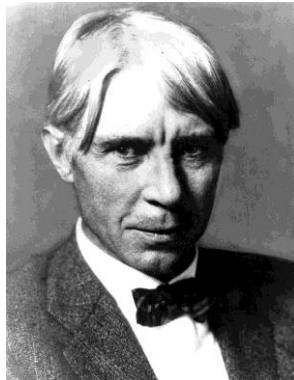


# 『Mind Charging』

第 125 回 発行：入試広報室 発行日：令和 2 年 10 月 1 日

## カール・サンドバーグの名言



### **Life is like an onion; you peel it off one layer at a time and sometimes you weep.**

人生はタマネギのようなもの。一皮一皮剥いていき、時に涙ぐむ。

タマネギの層になった皮の一枚一枚が人生の積み重ねを表しており、タマネギを切った時に目が痛くなって涙が出ることを、時には涙なしでは語れないような人生における大きな出来事に置き換えるというテクニクとユーモアの中に人生の奥深さを込めて伝えてくれているような言葉です。

タマネギもそうですが、木も年輪があって、外側に徐々に広がっていきます。まるで一枚ずつガードがついて中心を補強していくかのようです。そういう意味では、時間をかけて守りを固めていくことで強く見えるだけで、実は人の心はいつまでもデリケートで強くはならないのかもしれませんが。頑丈なガードになるもの。それが経験や成長ということではないでしょうか。

では、経験を積んで成長を遂げた人は、とにかく屈強でいかなる障害にも耐えうる力を持っているかと言えば、必ずしもそうではないと思います。『北風と太陽』という物語をご存知でしょうか。同じ目的であってもアプローチひとつで成功も失敗もするというストーリーです。例えば誰かに頼みごとをする時に、まるで命令するように言うのか逆に『私にやらせてください』と言ってもらえるような言い方をするのかでは相手の反応は全く変わります。ネガティブなことも同じです。非常に強そうに見える人でも、『これだけは弱い』という部分を持っているはず。 “お互い様”の精神を持ちつつ、困った時の自分や仲間の助けになるように多くの皮のような経験を心にまとえるよう、積極的に挑戦していきたいものですね。(編集委員：入試広報室 鈴木)

カール・サンドバーグ(Carl Sandburg, 1878年1月6日 - 1967年7月22日)はアメリカの詩人で、作家、編集者。スウェーデン系アメリカ人。元々の苗字はダニエルソン。父親がサンドバーグに変更した。エイブラハム・リンカーンの伝記の執筆で知られる。この本でピューリッツァー賞を受賞している。スウェーデンからの移民の子供として、イリノイ州ゲイルスバーグに生まれる。父親は鍛冶屋で、鉄道でも働いた。彼はイリノイ州の中西部で育った。サンドバーグは、13歳の時に学校をやめ、様々な仕事を転々とした。その中では画家として働いたこともある。(Wikipedia 参照)